

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、学習した漢字を正しく使うことにおいて、全国平均を上回る正答率でした。朝学習の活用や小テスト等での反復と継続を通して、基礎的な知識の定着を図ったことが結果に表れてきたものと思われま

す。質問紙調査の結果から、「朝食を毎日食べていますか」の設問では、肯定的な回答の割合が高いことが分かりました。児童のよりよい生活習慣の確立のための活動を学校と家庭とで連携し進めた成果であると考えられます。また、「自分には、よいところがあると思いますか」の設問では、肯定的な回答の割合が大変高く、自己肯定感の高さがうかがえました。

課題と対応

国語については、問題文を読んで内容をまとめる問題、算数については問題の解き方を説明する問題が特に苦手です。日々の授業の中で、学習した内容を文章でまとめる場を意図的に設定し、これまでの学習内容を活用できるように授業を計画していきたいと考えています。

質問紙調査の結果から、学習については、家庭学習1時間以下、読書時間30分以下の割合が高いということが課題です。勉強は大切だと理解してはいるが、ゲーム・メディアに接する時間が多いために、家庭学習や読書にあてる時間が少なくなっていると考えられます。「幸島ハッピーライフカード」を使った取組を引き続き継続していくことで、学校全体でメディア時間を減らし、学習時間を増やすように意識を高めていきたいと思

【保護者・学区の方へのお願い】

全国学調の結果や本校の生活アンケートでも、朝食を毎朝食べる、起床・就寝時間が決まっているといったよい生活習慣が身に付いてきていることが分かります。しかし、自分で計画を立てて勉強する、授業の予習・復習をする、読書をするなど、宿題以外の家庭での学習習慣が十分でない児童も見られます。家庭での過ごし方を自分でデザインし、それを習慣化することが大切だと考えています。児童のよりよい学習習慣の確立のために、学校と家庭が連携できるように、一層のご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	第3学年配当漢字を正しく読んだり、書いたりすることができる。
	社会	地図から情報を正しく読み取ることができる。
	算数	かけ算やわり算の計算ができる。
	理科	昆虫の成長の順番を理解している。
	学習状況	授業で学習した内容をよりくわしく調べてみたいと思っている児童の割合が高い。
第5学年	国語	漢字辞典の使い方を理解している。
	社会	水道局の人の仕事について理解している。
	算数	計算の順序を理解して計算ができる。
	理科	気温の変化と植物の成長の関係をグラフから読み取ることができる。
	学習状況	授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っている児童の割合が高い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	目的や必要に応じて書くことに課題がある。	全般的に、思考力を問われる問題が苦手で、無解答になることが多い傾向がある。今後の授業を通しての改善策としては、相手及び目的意識を明確にした上で、書いた内容が伝わるものになるように対話しながら深めていく活動を取り入れていきたい。また、各教科で学習した知識や技能を必要感をもって活用できるような場面を意図的に設定していきたい。学習状況については、ゲーム等に接する時間が長いことに課題があるが、これまで取り組んでいるノーメディア週間の取組が子ども自身にとって、「やってよかった」「効果があった」と実感できる振り返りができるようにしていきたい。
	社会	2つの資料を関連付けて考え、表現することに課題がある。	
	算数	重さやかさの理解に課題がある。	
	理科	実験の結果をもとに、関係を推測することに課題がある。	
	学習状況	普段、1日あたりテレビゲームをしている時間が長い状況が見られる。	
第5学年	国語	熟語の構成の理解、段落相互の關係に着目しながら、説明文の内容について叙述を基に捉えることに課題がある。	国語が他教科に比べて低い傾向が見られる。国語力が十分でないことが学力全体に影響していると、日常の授業からも推察できる。学力の根幹である国語力を伸ばしていけるよう、授業改善を図っていきたい。また、朝学習や家庭学習で、繰り返し漢字や計算の練習をすることで、定着を図っていきたい。また、全般的に記述問題に無解答率が高いことや、社会の資料を読み取ることなどに課題があるので、国語の授業の中では、「書く」条件をしっかりと意識させながら活動に取り組みせたり、社会では地図帳や資料を活用し、調べたり、自地図などにまとめたりする学習活動を取り入れていきたい。学習状況については、ゲーム等に接する時間が長いこと、家庭学習の時間が少ないことに課題があるので、家庭学習の習慣化に取り組んでいきたい。
	社会	資料を関連付けながら必要な情報を読み取り、表現することに課題がある。	
	算数	円の性質の理解に課題がある。	
	理科	仕組みを説明したり、調べるときに何を調べたらよいかを推測したりすることに課題がある。	
	学習状況	ゲームの時間が長い児童が多くいて、家庭学習に費やす時間が短い傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

今回の調査から、本年度も例年と同じく、本校の児童は、テレビゲームやスマートフォンの使用時間が長いことが分かりました。また、「読むこと」について課題がみられているため、ご家庭におかれましても、スマートフォン、ゲームなどへの接触時間をコントロールし、生み出した時間を読書の時間として活用するなど、お願いしたいと思います。また、基礎基本の定着のため、家庭で1日に学年×10分+10分以上の学習に取り組むことができるように声掛けをお願いします。